



カトレアだより

社会福祉法人宝生会
グループホームカトレア
〒320-0038 宇都宮市星が丘1丁目1番8号
Tel 028-650-7345 Fax 028-621-0222
令和2年1月発行 vol. 9

ご挨拶

副管理 沼尾 慈子

新年明けましておめでとうござい
ます。平成から令和へと大きな節目とな
った2019年もあつという間に20
20年になりました。皆様にとつて昨
年の一年はどのような年だったでし
うか。春には年号が改まり新しい時代
を迎えるお祝いムードでしたが、秋に
は災害が頻発し、多くの人が苦しい生
活を余儀なくされました。そのよう
な中で、当たり前前の事が当たり前として
生活出来たこと、2019年は日々、
そんなことを実感した年だったように
思います。新しい年に皆様のお元気な
顔が拝見出来まして、大変嬉しく思っ
ております。



夏祭り

令和元年8月5日、カトレアで夏祭
りがおこなわれました。室内にはちよ
うちんや壁画など、利用者様と職員
の手作りで飾りつけをしました。カキ氷
や焼きそばを召し上がりながら、ご家
族と団欒される利用者様のお顔には、
楽しそうな表情が多く見られていまし
た。華やかなフラドレスで登場して下
さったボランティアさん。フラダンス
が始まると、一気に南国のゆったりと
した雰囲気になって、とても心地良か
ったです。職員もがんばりました！前
日まで練習を重ねたよさこいソーラン
は、夏祭りらしい威勢の良いかけ声と
豪快なパフォーマンスで、お客様から
歓声と大きな拍手をいただくことが
できました。

ご家族をはじめ、職場体験の実習生
や地域の方々もたくさん足を運んでく
だいました。夏の楽しい思い出の1ペ
ージになったとともに、地域交流も持
つことが出来、有意義な1日となりま
した。

介護士 岩村 早苗



実習生が来ました



職員でソーラン節



フラダンスボランティア様

地域貢献活動



地域のお祭りにて

グループホームは地域密着型の施設であり、地域への公益的な取組が求められます。地域への協力はもちろん、地域行事に参加する事も地域の一員として馴染みの関係や、顔の見える関係性が築けるよう今後も努めてまいります。



消防団入団



昭和フェスティバル



星が丘中学校にて花壇のお手入れ



昭和地区グランドゴルフ大会

カトレア アルバム



初詣



初釜

日々のお手伝い



華の会様ボランティア



マジックショー るまんちっく村

あじさい観賞



介護の日フェスティバル

県立博物館



ねんりんピック



外食支援



白楽園納涼祭



職員忘年会

お誕生日おめでとう



昭和12年10月15日 大正15年6月1日
佐藤 賀子 様



昭和11年11月10日
金子 米子 様



昭和6年12月12日
渡邊 智枝 様



昭和8年6月7日
野尻 守 様



昭和3年7月11日
石崎 トキ 様



昭和12年12月2日
土田 悦子 様



大正8年12月23日
富貴澤 長将 様



昭和8年8月3日
中山 トクエ 様



昭和5年9月1日
市埜 絹恵 様



昭和8年9月26日
山本 和子 様



クリスマス会



パブリカみんなで踊ったよ～

新人紹介

6月から入職しました岩村です。グループホームでは、利用者様と一緒に料理をしたり掃除をしたりと、コミュニケーションの機会が多く持て、楽しく仕事できています。私の目標は、利用者様が安心できる介護士になることです。利用者様からも、ともに働く職員からも信頼されるよう、日々を誠実に努めて参りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。 介護士 岩村 早苗



12月より入職しましたナタリーです。フィリピンから来ました。以前は同グループの沼尾病院で勤務していました。持ち前の明るさを活かして、利用者様に楽しく生活を送ってもらえるよう頑張っていきます 介護士 八鍬 ナタリー



市塙 絹恵様

昭和5年9月1日 卒寿



富貴澤 長将 様

大正8年12月23日 上寿



手塚 恵子 様

昭和15年1月14日 傘寿



渡邊 幸子 様

昭和5年2月19日 卒寿

敬老会(平成31年9月22日)
澄んだ青空が秋を感じさせる佳き日。お健やかに無事敬老の日を迎えられたことを祝し、敬老会を開催致しました。本年、カトレアでは祝寿として傘寿を迎えられた方が1名、卒寿を迎えられた方が2名、白寿を迎えられた方1名いらっしゃり皆様がこれからも益々お元気で長寿を重ねられますよう感謝の意を込め、表彰式を執り行いました。



もちつき会 令和元年12月28日



RUN伴(平成31年9月22日)



NPO法人認知症フレンドシップクラブが主催するRUN伴栃木2019に参加いたしました。RUN伴とは、全国すべての町が、認知症になっても安心して暮らせる街を目指し、認知症の人や家族、支援者、一般の人が一緒に走るイベントです。地域の中で少しずつタスキをつなぎ、ゴールを目指すというイベントです。カトレアでも利用者様がタスキを繋ぐため、済生会チームから、釜川沿いのベンチにてタスキを引き継ぎ、カトレアまでタスキを繋ぎました。認知症の方が安心して過ごせる街づくりが出来るよう、RUN伴を盛り上げ、啓発活動に努めたいと思います。

介護士 福田 泉



宮つ子チャレンジとして、7月1日から5日間、陽西中学校から生徒2名、11月25日から5日間、陽南中学校から生徒1名の依頼があり、実習受け入れを行いました。高齢者施設の役割や介護職の仕事について学んでいただきました。また現場の介護職員から、介護職としてのやりがいや魅力について、体験を交えて伝える事が出来ました。5日間、入居者様との交流を深める事が出来て、入居者様も大変喜んでおられました。初日は緊張した面持ちでしたが、実習後半には積極的に入居者様に話しかける様子が見られていました。最終日には、生徒の方から、「将来は介護士になりたい」と強い意気込みが聞かれており、生徒にとっても、とても意味のある宮つ子チャレンジとなり、カトレアとしてもその一つとして力になる事が出来たのではないかと思います。

介護士 阿久津 綾香

宮つ子チャレンジ